

江田島市移住交流拠点施設「フウド」の実績(令和7年度)

1 フウドの機能

(1) 施設の開放

交流スペース、移住相談窓口、コワーキングスペース、シェアキッチンを備え、日常的に市内外の人が交流する場を提供している。

(2) 移住相談

移住希望者からの総合的な移住相談に対応している。

(3) 空き家案内

移住の際に不可欠な「住」の部分の補うため、令和元年度から空き家バンク登録物件の内覧希望者に対して、現地案内を行っている。

(4) 交流イベントの開催等

市内外への施設の周知や利用促進、交流機会の提供を図るため、イベントを開催している。

(5) 企業誘致・企業対応

企業の視察や相談対応などにより、企業のサテライトオフィス誘致を図っている。

(6) 情報発信

SNSやホームページを利用し、定住促進に対する取組や交流イベントについて、情報発信を行っている。

2 実績

(1) 施設の利用者数

年間利用者総数：2,866人 (R7.4.1~R8.3.31) (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	223	234	237	315	246	207	414	206	192	209	148	235	2,866

【目的別利用人数】 (R7.4.1~R8.3.31) (人)

利用目的	利用者総数	市民	市外	割合
コワーキング・ミーティング	559	456	103	19.5%
イベント	818	425	393	28.5%
交流スペース	1,130	937	193	39.4%
視察・見学	131	49	82	4.6%
シェアキッチン	22	19	3	0.8%
移住相談	73	14	59	2.5%
その他	133	106	27	4.6%
総計	2,866	2,006	860	100%

(2) 移住相談

年間相談件数：111件 (R7.4.1~R8.3.31) (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	13	8	9	5	9	14	5	12	8	14	7	7	111

※移住相談件数は、複数名の場合も1グループ1件として計上しているため、施設利用者（移住相談）の数値と差が生じることもあります。

(3) 空き家案内

年間案内件数：193件 (R7.4.1~R8.3.31) (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
案内件数	18	20	14	7	9	23	6	22	19	27	12	16	193

(4) 交流イベントの開催等

開催実績

イベント名	開催日	参加人数(人)
地域サロン	4月16日(水)	34
古典文学勉強会	4月26日(土)	18
地域サロン	5月21日(水)	10
古典文学勉強会	5月21日(水)	10
地域サロン	6月18日(水)	14
古典文学勉強会	6月28日(土)	10
富士通ワーケーション	7月15日(火) ～18日(金)	10
地域サロン	7月16日(水)	15
古典文学勉強会	7月26日(土)	13
地域サロン	8月20日(水)	6
古典文学勉強会	8月23日(土)	18
地域サロン	9月17日(水)	11
江田島竹フェスティバル	10月11日(土)	7
地域サロン	10月15日(水)	13
地域サロン	11月19日(水)	14
地域サロン	12月17日(水)	15
地域サロン	1月21日(水)	15
地域サロン	2月18日(水)	15
地域サロン	3月18日(水)	15
	計	263

参加実績

イベント名	開催日
大阪関西万博 Blue Ocean Dome 登壇	4月30日(水)
マリン・アシスタント広島 講演	6月21日(土)
ひろしま暮らし&仕事フェア 2025	7月6日(日)
富士通ワーケーション	7月15日(火)～18日(金)
キャリアスタートウィーク	8月20日(水)～22日(金)
広島県交流定住促進協議会 ワーキング会議 講師	10月10日(金)
沖たすけあい交通	11月4日(火)～1月31日(土)
第2回 えたじま未来の海づくり展	2月8日(日)～11日(水)
HYPP CAFÉ	2月20日(金)

(5) 企業誘致・企業対応

企業の視察対応など：(延べ) 18 社

企業概要	協議内容等
IT系企業	沖美町の視察と情報交換を行った。空き家を活用した事業展開を検討中とのこと。
コンサルティング会社	ビジネスコンサルティングを行っている企業。意見交換を行った。
地方創生	他社の視察に同行。意見交換を行った。
IT系企業	江田島市をフィールドとした研修を検討している。
造船会社	フウドの企業研修に参加。自社のリソースを使用した地域課題解決プログラムを構築中。事業化に向けた資金調達が課題。
金融サービス	フウドの企業研修に参加。自社のリソースを使用した地域課題解決プログラムを構築中。事業化に向けた資金調達が課題。
コンサルティング会社	フウドの企業研修に参加。自社のリソースを使用した地域課題解決プログラムを構築中。事業化に向けた資金調達が課題。
製造業	3社の合同研修の一環として、江田島市内での関係者のヒアリング会を開催。空き家や教育事業、観光など江田島市の課題をテーマとした事業構想についてそれぞれ関係者へヒアリングを行った。
IT系企業	広島支社の合同視察。本部から地域貢献をミッションとして課されており、江田島市の地域課題を学び今後のアクションを考えるために来訪。
IT系企業	都市と地方の関係人口創出をテーマに、地方の仕事を都市部の若者がお手伝いするマッチングサービスを展開している。江田島市での事業展開を図るために視察に訪れた。
コンサルティング会社	会計事務所を母体とする企業グループ。スタートアップに対する支援事業や研修事業の他、社内企業にも積極的に現在約40の新規事業を展開。広島県との意見交換と併せて来訪。 フウドの研修事業に関して意見交換を行った。
IT系企業	中山間マッチングイベントの合同視察で来訪。空き家の利活用をテーマに視察ツアーを実施。フウド、外国人ノマドワーカー向け宿泊施設等の視察を行った。会社から地域課題の解決に取り組むよう指示されているとのこと。
地方創生	中山間マッチングイベントの合同視察で来訪。空き家の利活用をテーマに視察ツアーを実施。フウド、外国人ノマドワーカー向け宿泊施設等の視察を行った。
不動産会社	中山間マッチングイベントの合同視察で来訪。空き家の利活用をテーマに視察ツアーを実施。フウド、外国人ノマドワーカー向け宿泊施設等の視察を行った。
IT系企業	関東圏で不登校児向けの支援サービスを展開している企業。フリースクール向けの修学旅行の視察で来訪。民泊受入家庭、フウド、さとうみ科学館の視察を行い本市在住の不登校児支援の専門家と意見交換を行った。

3 総括

【移住定住事業について】

- 昨年度と同水準の対応件数であり、移住ニーズは引き続き高い状況にある。複数回訪問するなど意欲の高い方や、将来を見据えた移住相談も一定数見られた。
- 内覧は価格や状態の良い物件に集中しており、海が見えること、駐車可能なこと、手ごろな庭があることなどが主なニーズとなっている。また、賃貸物件に移住し、その後継続して売買物件を探す層もあり、移住後も継続した住まい探しのニーズが存在している。
- 物件数が増加する一方、掲載から長期間経過しても成約に至らない物件が蓄積している。また、管理不足により内覧ができないケースも見られ、空き家の適切な管理が課題となっている。加えて、制度としての新陳代謝を図る必要性も感じる。
- 所有者への価格見直しや管理に関する働きかけ、そして情報発信・ターゲット設定の見直しを行いたい。移住ニーズは高い一方で、物件側の改善とマッチング精度の向上が今後の課題である。

【施設運営について】

- 地域サロンを継続開催し、お花見イベントや年末歌合戦など季節行事も実施した。地域主体の関わりと、参加者との交流を通じた企画づくりが継続して行われた。
- 全体的に利用者数が増加した。今年度全体利用者数 2,866 名に対し、昨年度は 2,090 名であった。特に、イベント・セミナー、ワーケーション受入等により利用者が大幅増加した。ひと月あたりの利用者数が 400 人を超えた月もあった。
- 「沖たすけあい交通」実証実験、江田島市社協主宰「おき井戸端会議」、そして住民主体の「健康麻雀・ひばり会」などを通じ、地域活動の拠点としての役割が強化されている。
- 会員、ドロップイン含めテレワークでの利用が継続して行われた。特に会員利用を 1 年間継続された方が数名おり、コワーキングスペースとして一定の役割を果たすことができた。